

令和8年熊本地震による被害状況等について（第18報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 地震の概要（8/2 10:00 時点）

（1）発生日時 令和8年7月28日 16:27

（2）震源地（震源の深さ）及び地震の規模

- ・震源地： 熊本県熊本地方
- ・震源の深さ：16km（暫定値）
- ・地震の規模（マグニチュード）：7.1（暫定値）

（3）津波注意報：有明・八代海

発表（7/28 16:29）

解除（7/28 18:10）

（4）各地の震度（震度5弱以上）

震度7 熊本県 宇城市、氷川町

震度6強 熊本県：熊本市、八代市、宇土市、美里町、益城町、嘉島町

震度6弱 熊本県：上天草市、合志市、大津町、西原村、御船町、芦北町

震度5強 熊本県：水俣市、山鹿市、菊池市、天草市、菊陽町、津奈木町、
甲佐町

長崎県：南島原市

鹿児島県：薩摩川内市、さつま町、長島町

震度5弱 熊本県：人吉市、玉名市、阿蘇市、和水町、高森町、南阿蘇村、
山都町、多良木町、湯前町、山江村、あさぎり町、
苓北町

長崎県：諫早市、雲仙市

鹿児島県：阿久根市、出水市、いちき串木野市、伊佐市、
湧水町

福岡県：柳川市、大川市

佐賀県：神埼市、白石町

宮崎県：延岡市、西都市、椎葉村

（5）長周期地震動（長周期地震動階級4以上）

長周期地震動階級4 熊本県熊本

（6）地震活動の状況（8/2 10:00 時点）

7/28 16:27 の最大震度7の地震以降、震度3以上を観測した地震が65
回発生（震度7：1回、震度5弱：5回、震度4：16回、震度3：43回）

（7）気象の見通し（8/2 10:30 時点）

- ・熊本県では、8月2日（日）から5日（水）にかけて高気圧に覆われて概ね晴れるが、3日（月）午後は、気圧の谷や日射の影響により曇りで雨の

降る所がある。6日（木）から9日（日）にかけては、湿った空気の影響で曇りや雨となる。

- ・6日（木）にかけて、最高気温が35度以上の日が続き、特に3日（月）は最高気温が40度以上の酷暑日となり、記録的な高温なる見込み。危険な暑さがしばらく続くため、熱中症などの健康管理に注意。
- ・台風第13号（ドルフィン）は、4日（火）頃に非常に強い勢力で小笠原近海を進み、7日（金）にかけて強い勢力で沖縄・奄美に接近する可能性がある。今後の台風情報に十分留意。

2 被害情報・対応状況等

■道路（8/2 11:00 時点）

○高速道路

〔被災による通行止め：2路線9区間〕

- ・E3九州道（松橋IC～えびのIC）：6区間：道路損壊、橋梁損傷

※松橋IC～宮原SA管理用出入口：2区間：緊急車両通行可

坂本PA工事用出入口～えびのIC：3区間：緊急車両通行可

- ・E3A南九州道（八代JCT～田浦IC）：3区間：道路損壊、橋梁損傷

※八代南IC～田浦IC：2区間：緊急車両通行可

○有料道路

〔被災による通行止め：なし〕

○直轄国道（直轄高速除く）

〔被災による通行止め：なし〕

○補助国道

〔被災による通行止め：1県1区間〕

- ・国道219号（熊本県八代市）橋梁損傷（新萩原橋）

※緊急車両通行可

○都道府県道等

〔被災による通行止め：3県11区間〕

- ・熊本県 9区間（落石2、道路損壊3、橋梁損傷2、家屋倒壊等2）

※このほかに側道橋（歩道部）の落橋が1区間あり（県道42号植柳橋）

- ・宮崎県 1区間（落石1）

- ・鹿児島県 1区間（土砂流入1）

○孤立集落

都道府県	市町村	地区名	被災内容	孤立集落	集落へのアクセス	ライフライン等
現時点で孤立集落なし						

○防災道の駅・道の駅活用情報等

[被災情報：あり]

- ・道の駅「竜北」（熊本県氷川町）：

トイレ等損傷（駐車場の舗装損傷は応急復旧済み）

[活用情報等：なし]

[道の駅に配備している防災用コンテナ型トイレの派遣]

- ・道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に7月30日に3台（熊本県宇城市・美里町・氷川町）、7月31日に1台（八代市）、計4台を派遣済。さらに、今後3台（氷川町）派遣予定

○ライフライン

- ・ライフライン（電力、通信、上下水道、鉄道）について、連絡調整実施済み。現時点で道路への要請なし（ホットライン構築済み、災害時の連携を確認済み）

○道路啓開及び交通マネジメント

- ・被災地への主要アクセスの国道3号及び国道57号のアクセスは確保済
- ・高速道路通行止めに伴う、被災地の渋滞を抑制するため、E10 東九州道への広域迂回を呼びかけ
- ・「熊本災害時渋滞対策マネジメント検討会」を7月29日設置し、幅広い情報提供や迂回路の設定など、関係機関と調整中
- ・被災地域の物流のため、特殊車両通行許可の迅速化を7月29日から実施
- ・緊急救助活動を迅速に実施するため、7月29日から災害派遣従事車両の高速無料措置を開始

○その他

- ・熊本県管理の被災橋梁に対して、現地で7月30日までに7橋の技術支援を実施。八代市管理の被災橋梁に対して、7月30日から2橋、宇土市管理の被災橋梁に対して、8月1日から2橋の技術支援を実施
- ・ガソリンの供給について、八代油槽所周辺の道路を速やかに復旧し、3

0日16時頃から供給が進められている

■鉄道(8/2 11:00 時点)

○施設被害

- ・JR九州 九州新幹線

熊本駅～新水俣駅間

構造物の変状 約200箇所以上

(防音壁落下、橋脚・橋桁変状、高架橋損傷等)

軌道変状 約40箇所

(レールの歪み、継目部の破断、部材の損傷等)

- ・JR九州 鹿児島線

宇土駅～八代駅間

構造物の変状 9箇所

(橋りょう変状、乗降場変状)

軌道変状 約150箇所

(レールの歪み)

電柱等電気設備損傷多数

- ・肥薩おれんじ鉄道 肥薩おれんじ鉄道線

八代駅～川内駅間

軌道変状、架線断線、乗降場破損等被害多数

○運行状況

〈新幹線〉

- ・運転を見合わせている路線：九州新幹線 熊本駅～鹿児島中央駅間
- ・今後、見合わせを予定している路線：なし

〈在来線〉

- ・運転を見合わせている路線：2事業者2路線

■航空(8/2 10:00 時点)

○空港の震度

震度6弱 熊本空港

震度5強 天草飛行場

震度4 鹿児島空港、宮崎空港、長崎空港、佐賀空港

震度3以下省略

○空港の状況等

<熊本空港>

- ・滑走路閉鎖解除済（閉鎖時間：7/28 16:27～7/28 19:05）
- ・ターミナルビル内の停電復旧済
- ・ターミナルビル内エレベーター復旧済
- ・7/29～通常運用

<天草飛行場>

- ・進入角指示灯復旧済
- ・7/29～通常運用

<その他空港>

- ・被害なし

○運航への影響

<熊本空港>

7月28日 欠航：29便 ※発災以降の運航なし

7月29日 欠航：14便

7月30日～欠航：なし

<天草飛行場>

7月28日 欠航：2便

7月29日 欠航：1便

7月30日～欠航：なし

○TEC-FORCE の派遣状況

・先遣隊

本省航空局（管制職）：1名（7/31～）

本省航空局（管制職）：1名（8/1～）

（派遣終了）

本省航空局（建築職）：2名、大阪航空局（建築職）：2名（7/29）

大阪航空局（管制職）：1名（7/29～7/31）

大阪航空局（管制職）：1名（7/29～8/1）

大阪航空局（管制技術職）：1名（7/29～7/30）

大阪航空局（管制技術職）：1名（7/30～7/31）

■海事（8/2 10:00 時点）

- ・熊本県内の一部の造船会社の工場の壁にヒビ、フェリー事業者の船舶の船体損傷といった被害が発生。八代市所在の事業所（ヤマハマリン）において、複数名の従業員が軽い打撲を負っていた旨の追加報告があった

が、大きな人的被害は生じていない。

- ・ 運休情報なし
- ・ 船員法、船員職業安定法、船舶職員及び小型船舶操縦者法、船舶安全法の手続きについて、有効期間の延長等の弾力的な措置を実施する旨を周知。

■物流・自動車（8/2 10:00 時点）

○高速バスの運休状況

福岡県、熊本県発着便を中心に
7 事業者 18 路線運休

○路線バスの運休状況

熊本県内において

1 事業者 13 路線で運休

- ・ 路線バス車内事故転倒事故 1 件発生（怪我の状況は現時点で軽傷）

○タクシーの状況

熊本県等の 21 事業者において、事務所及び車庫の一部損壊等
熊本県内において、4 事業者で停電の影響等に伴う休業

○宅配便の状況

5 事業者で一部地域の集配遅延・停止等

○関係施設の被害状況

（独）自動車事故対策機構熊本支所の天井材の一部が落下

○自動車検査証及び自賠責保険の有効期間の伸長

- ・ 熊本県を使用の本拠の位置とする車両のうち、自動車検査証及び自賠責保険の有効期間満了日が令和 8 年 7 月 29 日から令和 8 年 8 月 28 日までのものについては、有効期間を令和 8 年 8 月 31 日まで伸長

■水道（8/2 10:00 時点）

○ 4 県（15 自治体）において断水が発生（最大断水戸数約 108,100 戸）。

○ 1 県（5 自治体）において約 47,000 戸が断水中。

○ 日本水道協会、地方整備局による応急給水を順次実施中。

○ 国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関に加え、新たに福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を

実施。引き続き、自衛隊の協力や、巡視船等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。

○水資源機構が保有する可搬式浄水装置を設置中。

○自治体（熊本県及び菊陽町）からの申請に基づき、既存井戸の所在地等の情報提供を実施。

○国土交通省及び日本水道協会より先遣隊を被災自治体へ派遣し、水道の被害状況や復旧に係るニーズを確認済み。被害が甚大な自治体の復旧支援を行うための水道技術者を、8月1日より被災自治体に派遣。

県・市町村 ・事業者名	断水戸数（戸）		断水 期間	被害等の状況
	最大	現在		
【福岡県】				
柳川市	7	0	7/28	・復旧済
【佐賀県】				
太良町	41	0	7/28～29	・復旧済
【長崎県】				
南島原市	約439	0	7/28～29	・復旧済
【熊本県】				
熊本市	約20,970	約2,250	7/28～	・管破損に伴う漏水
八代市	約25,269	約25,269	7/28～	・管破損に伴う漏水
宇土市	約12,200	0※	7/28～ 8/1	※給水時間の制限あり
上天草市	約7,670	0※	7/28～ 8/1	※夜間断水あり
宇城市	約18,000	約15,648	7/28～	・管破損に伴う漏水
天草市	約1,100	0	7/28～ 8/1	・復旧済
合志市	不明	0	7/28	・復旧済
御船町	約2,600	0	7/28～ 8/1	・復旧済
甲佐町	約500	約300	7/28～	・管破損に伴う漏水
氷川町	約3,231	約3,231	7/28～	・管破損に伴う漏水

芦北町	約1,000	0	7/28～ 8/1	・ 管破損に伴う漏水
人吉市	約15,000	0※	7/29～30	・ 復旧済
合計	約 108,100	約 47,000		

○給水車の派遣状況

(単位：台)

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代環境事務組合 (八代市と氷川町で構成 される一部事務組合)	<u>1 0</u>		<u>5</u>	<u>5</u> ※氷川町のみ
甲佐町	<u>2</u>		<u>2</u>	
宇城市	<u>4 3</u>	1	<u>8</u>	<u>3 4</u>
益城町	<u>6</u>	1	<u>5</u>	<u>0</u>
八代市	<u>3 8</u>	1	<u>1 9</u>	<u>1 8</u>
御船町	<u>1 0</u>		<u>5</u>	<u>5</u>
宇土市	<u>1 3</u>		<u>9</u>	<u>4</u>
上天草市	<u>6</u>		<u>4</u>	<u>2</u>
熊本市	<u>1 0</u>		<u>4</u>	<u>6</u>
芦北町	<u>4</u>			<u>4</u>
嘉島町	<u>1 0</u>	7	<u>1</u>	<u>2</u>
菊池市	<u>2</u>			<u>2</u>
大津町	<u>1</u>			<u>1</u>
(派遣先調整中)	<u>1 0</u>	8	<u>2</u>	
計	<u>1 6 5</u>	1 8	6 4	<u>8 3</u>

■下水道（5弱以上の施設）（8/2 10:00 時点）

●熊本県

○処理場（対象：30 施設）

- ・ 点検完了・異常なし：22 施設
- ・ 軽微な異常あり（水処理機能に影響なし）：8 施設

○ポンプ場（対象：101 施設）

- ・ 点検完了・異常なし：99 施設
- ・ 軽微な異常あり（揚水機能に影響なし）：2 施設

○管路（対象：25 自治体）

- ・ 点検中：5 自治体
- ・ 点検完了・異常なし：18 自治体
- ・ 軽微な異常あり（流下機能に影響なし）：2 自治体

○日本下水道事業団(JS)が災害支援協定に基づき、水俣市、益城町を支援

●福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県

○対象施設について点検完了し、異常なし

■海岸（8/2 11:00 時点）

- ・点検状況については次のとおり。

福岡県：点検完了、被害なし

佐賀県：点検完了、被害なし

長崎県：点検完了、被害なし

熊本県：点検完了、9 海岸被害あり 護岸にクラックや損傷被害。

応急対策実施中。（4 / 10 箇所対策完了）

※9 海岸のうち、浦海岸においては、「令和 8 年 7 月 29 日に発生した地震（最大震度 5 弱）の点検結果により被災箇所（1 箇所）が追加。

鹿児島県：点検完了、被害なし

- ・点検対象海岸：以下のとおり

熊本県：79 海岸

野崎海岸、豊川海岸、不知火海岸、桂原海岸、永尾海岸、手場海岸、新地海岸、金桁海岸、黒崎海岸、尺の浦海岸、片島東海岸、千崎海岸、浪浦海岸、大田尾海岸、明治新田海岸、平岩海岸、長部田海岸、御立岬海岸、大湊海岸、治郎田海岸、鷹巣海岸、新開海岸、梅木海岸、大桜海岸、鷺の浦海岸、下山海岸、小仏海岸、瀬高海岸、鯨道海岸、山田海岸、鳩之釜海岸、七ツ割海岸、火崎海岸、湯の児海岸、大迫海岸、男島海岸、古川海岸、中形浦海岸、浦海岸、塔の崎海岸、戸ノ崎海岸、石場海岸、東外園海岸、江崎海岸、須森海岸、船場海岸、前湊海岸、観音海岸、大宮地海岸、荒新開海岸、檜浦海岸、横島海岸、大坪海岸、浦ノ迫海岸、松崎海岸、鬼海浦海岸、浜平海岸、大ノ浦海岸、井出迫海岸、砂月海岸、米淵海岸、里浦海岸、首海岸、四名田海岸、早浦海岸、向海岸、大田迫海岸、志柿海岸、美越海岸、下津江海岸、瀬戸海岸、萱之木海岸、小松海岸、竹の迫海岸、年柄海岸、白木尾海岸、釜海岸、野々木河内海岸、唐人岩海岸

長崎県：16 海岸

坂下海岸、石田海岸、田平海岸、大江海岸、吉川海岸、小長井海岸、平江海岸、道祖崎海岸、諫早海岸、多良見海岸、平江海岸、道祖崎海岸、大正海岸、西郷海岸、神代海岸、多比良海岸

福岡県：3 海岸

若津港柳川海岸、大和海岸、高田海岸

佐賀県：3 海岸

有明海岸、白石海岸、福富海岸

鹿児島県：9 海岸

東市来海岸、市来海岸、串木野海岸、阿久根海岸、高尾野海岸、出水海岸、長島海岸、東海岸、黒之浜海岸

■港湾（8/2 11:00 時点）

○九州西側 5 県※で震度 4 以上を観測した港湾が合計 99 港。うち、三角港で震度 7、八代港・日奈久港・鏡港で震度 6 強、姫戸港・合津港・上天草港で震度 6 弱を観測。※福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島

○九州管内の港湾は市町村も含め点検が完了。熊本県内港湾の主な被災状況は以下の通り。

（八代港）

- ・くまモンポート・コンテナターミナルの岸壁エプロン等に被害が発生したほか、岸壁背後に段差、液状化、陥没等を確認。
- ・耐震強化岸壁（水深 10m、延長 180m）背後に延長 40m にわたって段差が生じていたが、7/29（水）未明に 20m 分を応急復旧済。岸壁法線や上部工に目立った異常はなく接岸可能な状態と九州地整にて判断し、海保の巡視船を受け入れ、給水支援実施中。
- ・7/30（木）未明にコンテナ岸壁（水深 12m、延長 200m）について、研究所により緊急輸送のための船舶の接岸が可能と判断され、海上自衛隊の支援船を受け入れ。
- ・7/31（金）未明、研究所 TEC-FORCE 現地調査により、八代港（外港地区）の全ての利用可否判断が完了し、これまで 2 バース、本日新たに穀物バース（水深 14m、延長 280m）1 バースの暫定利用を開始。
- ・今後、全国からの海上支援の受入に向け、熊本県と連携し、支援物資を取り扱う岸壁をできるだけ確保すべく、施設の復旧を進める。
- ・コンテナクレーンについては、レールの変状やクレーンの油漏れが発生。港湾運送事業者、クレーンメーカー、港湾建設業者などの関係者も現地入りし、復旧対策について検討中。
- ・熊本県が、港湾法第 55 条の 3 の 3 に基づく国による管理代行の八代港への適用の意向があることから、調整を進めているところ。

（熊本港）

- ・熊本フェリー（株）において使用しているフェリー渡橋（県財産）が地震の影響で大きく動揺した着岸中船体と接触し、先端部が損傷

して使用不可となり、修繕について、熊本県へ対応を要望済。

- ・ 7/30(木) 熊本発 7:30 始発から「車輛のみ」で運行を再開していたが、8/1(土)より臨時ルートで徒歩利用を再開（破損した徒歩乗船口は復旧作業中）。

○給水支援等

- ・ 8/1(土)に八代港に到着した「清龍丸（中部地整）」及び三角港に到着した「白山（北陸地整）」は、支援物資の搬出が済んだことから、「清龍丸」は八代港で 8/1(土)から給水支援を開始しており、「白山」についても 8/2(日)から給水支援を開始。
- ・ 調査観測兼清掃船（海輝、海煌）が八代港内港地区において、7/31から給水（飲料水）支援を開始。
- ・ 堺泉北港の基幹的広域防災拠点の防災センターから飲料水等の支援物資とともに熊本県に向け夜間対応を可能とする投光器等を運搬済み。
- ・ 被災者に向けた給水支援情報などの港からの支援状況について、海上保安庁と連携して X を通じて情報発信を行っている。

(URL : https://x.com/MLIT_Port)

○港湾関係の TEC-FORCE 派遣人数（8/2 分）は計 99 名 ＜リエゾン＞

九州地整	→	熊本県庁	: 3 名
九州地整	→	八代市役所	: 2 名
本省	→	現地対策本部	: 3 名

＜先遣班＞

本省	→	現場	: 4 名
----	---	----	-------

＜被災状況調査班＞

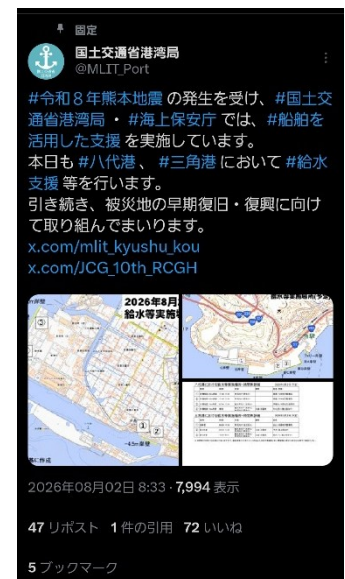
中国地整	→	現場	: 4 名
四国地整	→	現場	: 4 名
九州地整	→	現場	: 11 名

＜高度技術指導班＞（施設の利用可否判断等）

国総研	→	現場	: 1 名
港空研	→	現場	: 2 名

＜給水支援班＞（大型浚渫兼油回収船）

北陸地整	→	現場	: 32 名
中部地整	→	現場	: 33 名



■河川・ダム（点検対象 震度5弱以上）（8/2 08:00 時点）

○国管理河川：6 水系 29 河川

- ・筑後川水系 筑後川、諸富川、早津江川、佐賀江川、城原川、田手川
- ・菊池川水系 菊池川、繫根木川、木葉川、岩野川、合志川、迫間川、上内田川
- ・白川水系 白川
- ・緑川水系 緑川、加勢川、浜戸川、御船川
- ・球磨川水系 球磨川、前川、南川、川辺川
- ・川内川水系 川内川、八間川、隈之城川、樋渡川、羽月川、綿内川、長江川

- ・国管理河川では点検が完了し、3 水系 7 河川※90 箇所ですべて堤防天端のクラックなどの被害を確認。これ以外の国管理河川は被害無し。
- ・被害を確認した箇所の内、250mにわたり堤防の沈下や亀裂、はらみ出しが生じた球磨川堤防で緊急的に応急復旧工事を実施中。その他の箇所は応急対策に順次着手。

※球磨川水系球磨川、前川

白川水系白川

緑川水系緑川、浜戸川、御船川、加勢川

○県管理河川：72 水系 218 河川

- ・福岡県：2 水系 8 河川
- ・佐賀県：1 水系 3 河川
- ・長崎県：5 水系 5 河川
- ・熊本県：52 水系 165 河川
- ・宮崎県：4 水系 12 河川
- ・鹿児島県：6 水系 17 河川
- ・熊本市：2 水系 8 河川

- ・福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、熊本市は点検が完了し、被害無し。
- ・熊本県は点検完了。
- ・熊本県管理の 43 河川 294 箇所（※点検結果整理中）で護岸の変状などを確認。

○7 月 29 日 22 時 19 分頃に熊本県で発生した震度5弱の地震対応

- ・国管理河川（1 水系 3 河川）、県管理河川（6 水系 8 河川）について点検完了。

- 8月1日21時47分頃に熊本県で発生した震度5弱の地震対応
・県管理河川（3水系7河川）について、点検実施中。

○ダム

直轄建設ダム : 1 ダム（点検完了、異常なし）
直轄管理ダム : 4 ダム（点検完了、異常なし）
機構管理ダム : 0 ダム
都道府県管理ダム : 15 ダム（点検完了、異常なし）
利水ダム : 37 ダム（点検完了、異常なし）
補助建設ダム : 点検対象なし

- ・7月29日22時19分頃に熊本県で発生した最大震度5弱の対応
震度5弱以上の点検対象ダム（都道府県管理ダム:1ダム、利水ダム:3
ダム）の点検を完了し、異常なし。

■砂防（8/2 11:00 時点）

○レベル4土砂災害危険警報

- ・震度5強以上を観測した市町村において、レベル4土砂災害危険警報の
発表基準を引き下げた暫定基準による運用を開始（7月28日19時30分
報道発表）
・新たに判明した震度データに基づき、暫定基準を一部変更
（7月30日17時報道発表）
・通常基準の7割（震度7・6強・6弱）：1県14市町村（熊本県）
通常基準の8割（震度5強）：3県12市町（熊本県、長崎県、鹿児島県）
なお、レベル3土砂災害警報及びレベル2土砂災害注意報の発表基準につ
いても、通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用。

○土砂災害発生状況

- ・宮崎県 3件（うち1件で、人家一部損壊1戸。人的被害なし）
・JAXAのALOS-2やALOS-4、民間衛星による緊急観測及びSAR画像判読、
及びヘリコプターによる調査等の結果、土砂災害の可能性がある箇所を
30箇所確認し、熊本県へ情報提供を実施。

○点検対象施設数

【直轄】長崎県 65施設（全施設点検完了。異常なし）

熊本県

（阿蘇砂防） 39施設（全施設点検完了。異常なし）

（川辺川砂防） 37施設（全施設点検完了。異常なし）

【補助】 佐賀県 2 施設（全施設点検完了。異常なし）

長崎県 1 施設（全施設点検完了。異常なし）

熊本県 400 施設（うち、334 施設で点検完了。異常なし）

※7 月 29 日の震度 5 弱を観測した地震により、
再点検対象となった施設をすべて点検完了
し、異常なし

※8 月 1 日の震度 5 弱を観測した地震では、点検
対象となる施設は無し。

宮崎県 53 施設（全施設点検完了。異常なし）

鹿児島県 97 施設（全施設点検完了。異常なし）

■公園・都市（8/2 11:00 時点）

○都市公園

熊本県内で 66 公園被災

熊本県（4 公園）：熊本県民総合運動公園、県営八代運動公園、
水俣広域公園、熊本県テクノ中央緑地

熊本市（22 公園）：熊本城公園ほか 21 公園

八代市（24 公園）：鏡ヶ池公園ほか 23 公園

人吉市（1 公園）：人吉城跡公園

宇城市（6 公園）：岡岳公園ほか 5 公園

嘉島町（5 公園）：高田みんなの広場公園ほか 4 公園

益城町（1 公園）：秋津川河川公園

甲佐町（1 公園）：熊本甲佐総合運動公園

美里町（1 公園）：美里町カントリーパーク

氷川町（1 公園）：竜北公園

○都市施設

熊本県内 14 施設で被災

熊本県（5 施設）：木山宮園線ほか 4 線（街路）

八代市（9 施設）：区画道路 6-33 ほか 7 線（街路）

前川右岸プロムナード（都市施設）

○都市公園の活用状況

物資運搬等の拠点として都市公園を活用

（熊本県営八代運動公園、嘉島町総合運動公園等）

地域の避難場所として都市公園を活用

（益城町総合運動公園、大津町運動公園、菊陽杉並木公園等）

■住宅（8/2 11:00 時点）

○被災建築物応急危険度判定の状況

熊本県（7/29～）熊本市、八代市、宇土市、宇城市、美里町、嘉島町、氷川町、芦北町で実施。

その他市町村は協議中。

○公的賃貸住宅の被害状況

公営住宅：公営住宅 132 団地で一部損壊等（熊本県八代市、人吉市、玉名市、宇土市、宇城市、上天草市、合志市、和水町、大津町、菊陽町、御船町、氷川町、相良村、水俣市、美里町、益城町）

○エレベーター閉じ込め情報

閉じ込めが 32 件（熊本県 29 件、鹿児島県 1 件、福岡県 2 件）発生。
全救出済み。

（※日本エレベーター協会会員社が保守を行っているもの）

■官庁施設

- ・災害応急対策活動を実施する官庁施設のうち、13 施設で軽微な建物被害が確認されたが、活動に支障となる被害報告は無し。

■観光

- ・宿泊施設の被害：5 件（建物被害のため営業休止）
- ・観光施設の被害：1 件（建物被害のため営業休止）
- ・避難者の受入可能な宿泊施設として、熊本県とあわせて 73 施設を確保

3 TEC-FORCE 等の活動

(1) ホットラインの構築状況（5 弱以上）

26 市 22 町 8 村と構築済み

都道府県	ホットライン構築数
熊本県	13 市 18 町 7 村
鹿児島県	5 市 3 町
宮崎県	2 市 1 村
佐賀県	1 市 1 町
福岡県	2 市
長崎県	3 市

(2) TEC-FORCE【現時点 254 人派遣】（これまでのべ 1,114 人・日（予定含む））

○リエゾン：【現時点 30 人派遣】（これまでのべ 149 人・日（予定含む））

○JETT：【現時点 2 人派遣】（これまでのべ 82 人・日（予定含む））

○被災状況調査班等：【現時点 222 人派遣】（これまでのべ 883 人・日（予定含む））

これらのうち、本省からの派遣状況：【現時点 21 人派遣（指定職 2 人を含む）】
（これまでのべ 82 人・日（予定含む））

リエゾン派遣先		派遣元	～7/31	8/1	8/2	合計
都道府県	市町村等		89	30	<u>30</u>	<u>149</u>
熊本県	熊本県庁	本省（水局、港湾局）	10	5	5	20
熊本県	熊本県庁	本省（住宅局）	3	1	1	5
九州地整		本省（港湾局）	2	3	3	8
熊本県	熊本県庁	国土地理院	8	2	2	12
熊本県	熊本県庁	九州地整	16	4	4	24
長崎県	長崎県庁	九州地整	4	0	0	4
鹿児島県	鹿児島県庁	九州地整	2	0	0	2
熊本県	八代市	九州地整	11	4	4	19
熊本県	宇城市	九州地整	8	2	2	12
熊本県	氷川町	九州地整	10	2	2	14
熊本県	美里町	九州地整	4	2	2	8
熊本県	宇土市	九州地整	6	2	2	10
熊本県	熊本県庁	九州運輸	5	3	<u>3</u>	<u>11</u>

JETT 派遣先		派遣元	～7/31	8/1	8/2	合計
都道府県	市町村等		62	12	8	82
熊本県	熊本県庁	福岡管区气象台	23	8	8	39
熊本県	八代市	福岡管区气象台	3	0	0	3
熊本県	氷川町	福岡管区气象台	3	0	0	3
熊本県	宇城市	福岡管区气象台	3	0	0	3
熊本県	芦北町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	宇土市	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	熊本市	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	甲佐町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	美里町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	嘉島町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	合志市	福岡管区气象台	2	0	0	2

熊本県	大津町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	西原村	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	益城町	福岡管区气象台	2	0	0	2
熊本県	上天草市	福岡管区气象台	0	2	0	2
熊本県	御船町	福岡管区气象台	0	2	0	2
長崎県	長崎県庁	福岡管区气象台	4	0	0	4
佐賀県	佐賀県庁	福岡管区气象台	4	0	0	4
福井県	福井県庁	東京管区气象台	2	0	0	2

被災状況調査班等 派遣先		派遣元	班	詳細	～7/31	8/1	8/2	合計
都道府県	市町村等				444	217	222	883
熊本県	熊本市	本省	先遣調査班	上下水	7	3	3	13
熊本県	熊本県庁	本省	先遣調査班	上下水	5	3	3	11
熊本県	八代市等	本省	先遣班	港湾	4	2	2	8
熊本県	益城町	本省	先遣班	空港	3	2	2	7
九州地整	本局	本省	先遣班	港湾	5	3	2	10
熊本県	八代市等	国総研	高度技術指導班		3	1	1	5
熊本県	八代市等	港空研	高度技術指導班		6	2	2	10
熊本県	熊本地方	国土地理院	被災状況調査班	航空測量 グループ	8	0	0	8
熊本県	熊本県庁	九州地整	先遣調査班		15	0	0	15
熊本県	熊本県庁	九州地整	広報班		10	4	6	20
熊本県	宇城市	九州地整	先遣調査班		12	0	0	12
熊本県	氷川町	九州地整	先遣調査班		12	0	0	12
熊本県	八代市	九州地整	先遣調査班		12	0	0	12
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	ヘリ調査	7	2	5	14
長崎県	島原市	九州地整	被災状況調査班	ヘリ調査	5	0	0	5
熊本県		九州地整	港湾空港班		12	11	11	34
熊本県	甲佐町	九州地整	応急対策班		6	2	2	10
熊本県	美里町	九州地整	情報通信班		6	0	0	6
熊本県	熊本県庁	九州地整	現地支援班		0	4	4	8
熊本県	熊本市	九州地整	現地支援班		0	1	1	2
熊本県	宇城市	九州地整	現地支援班		0	5	5	10
熊本県	氷川町	九州地整	被災状況調査班	河川	0	5	5	10
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	河川	0	5	5	10
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	河川	0	5	5	10

熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	河川	0	5	5	10
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	河川	0	5	5	10
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	0	5	5	10
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	0	5	5	10
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	0	5	5	10
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	道路	0	4	4	8
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	道路	0	5	5	10
九州地整	本局	中国地整	先遣班		12	4	4	20
熊本県	熊本市等	中国地整	応急対策班	給水支援	11	4	4	19
熊本県	氷川町	中国地整	応急対策班	電源支援	9	3	3	15
熊本県	熊本市	中国地整	被災状況調査班	港湾	8	4	4	16
九州地整	本局	四国地整	先遣班		12	4	4	20
熊本県	熊本市	四国地整	被災状況調査班	ヘリ調査	1	0	0	1
熊本県	八代市等	四国地整	応急対策班	給水支援	6	2	2	10
熊本県	甲佐町	四国地整	応急対策班	電源支援	3	0	0	3
熊本県	氷川町	四国地整	応急対策班		0	1	1	2
熊本県	熊本市	四国地整	被災状況調査班	港湾	8	4	4	16
熊本県	熊本県	北海道開発局	応急対策班	給水支援	3	3	3	9
九州地整	本局	東北地整	先遣班		4	4	4	12
熊本県		東北地整	応急対策班	給水支援	0	2	4	6
九州地整	本局	関東地整	先遣班		5	5	5	15
熊本県	熊本市	関東地整	応急対策班	給水支援	3	3	3	9
九州地整	本局	北陸地整	先遣班	港湾	4	2	2	8
熊本県		北陸地整	現地支援班	港湾	90	30	30	150
熊本県		北陸地整	応急対策班	給水支援	3	3	3	9
九州地整	本局	中部地整	先遣班	港湾	8	4	4	16
九州地整	本局	中部地整	先遣班	総括	3	3	3	9
熊本県		中部地整	現地支援班	港湾	87	29	23	139
熊本県		中部地整	応急対策班	給水支援	2	2	8	12
九州地整	本局	近畿地整	先遣班		4	2	2	8
熊本県	熊本市	近畿地整	応急対策班	給水支援	8	4	4	16
熊本県	益城町	大阪航空局	先遣班		12	1	0	13

(3) 災害対策用ヘリコプター等による被災状況調査

- ・ はるかぜ号 熊本県を調査 7/28、7/29、7/30、8/1
熊本県、長崎県を調査 8/2 (調査中)
- ・ 愛らんど号 熊本県を調査 7/29
- ・ おりづる号 熊本県、長崎県を調査 7/31
- ・ きんき号 熊本県を調査 8/1

(4) 災害対策用機械等派遣先

- 散水車（給水機能付）：現時点派遣 18 台（これまでのべ 67 台・日）
- 散水車：現時点派遣 0 台（これまでのべ 3 台・日）
- 照明車：現時点派遣 16 台（これまでのべ 99 台・日）
- 対策本部車：現時点派遣 2 台（これまでのべ 11 台・日）
- 大型浚渫兼油回収船：現時点派遣 2 台（これまでのべ 10 台・日）
- 調査観測兼清掃船：現時点派遣 2 台（これまでのべ 10 台・日）

機械名	都道府県	活動内容	台数	稼働	現場 即応 待機	移動	後方 待機・ 撤収	その他
散水車（給水機能付）	熊本県	給水支援	18	5	8	5		7/28～
	小計		18	5	8	5		
散水車	熊本県	給水支援 (トイレ用)	1				1	7/30～ 8/1
	小計		1				1	
照明車	熊本県	夜間作業 支援・電 源支援・ 前進配備	22		11	5	6	7/28～
	小計		22		11	5	6	
対策本部車	熊本県	後方支援	2		2			7/28～
	小計		2		2			
大型浚渫兼油回収船	熊本県	給水支援	2	2				7/29～
	小計		2	2				
調査観測兼清掃船	熊本県	給水支援	2	2				7/29～
	小計		2	2				

4 国土交通省の体制等

(1) 大臣指示 (7/28 16:29)

(2) 国土交通省 非常災害対策本部会議

- (第 1 回 7/28 19:00、第 2 回 7/28 22:30、第 3 回 7/29 10:30、
第 4 回 7/29 15:30、第 5 回 7/30 14:30、第 6 回 7/31 18:10、
第 7 回 8/1 16:00)

(3) 体制等

○非常体制：本省、九州地整、九州運輸、気象庁、地理院、国総研、土研、建研

5 気象庁の対応状況

- ・ 気象庁本庁記者会見（7/28 17:30、20:30）
- ・ 気象庁本庁報道発表（7/28 19:15、7/29 15:00、7/30 16:00、7/31 16:00）
- ・ 気象庁災害対策本部（7/28 21:00、7/29 18:00、7/30 16:00、7/31 19:15、8/1 17:00）
- ・ 気象庁では、令和8年7月28日16時27分に熊本県熊本地方で発生した地震について、その名称を「令和8年熊本地震」と定めた。
- ・ 気象庁ホームページに令和8年熊本地震のポータルサイトを開設。
- ・ 土砂災害に関する警報等の暫定的な運用開始（7/28）
 - ・ 通常基準の7割：熊本県宇城市、氷川町、熊本市、八代市西部、宇土市、美里町、益城町、合志市、大津町、西原村、御船町、上天草市、芦北町、嘉島町
 - ・ 通常基準の8割：熊本県八代市東部、山鹿市、菊池市、菊陽町、水俣市、天草市、津奈木町、甲佐町
長崎県南島原市
鹿児島県薩摩川内市、さつま町、長島町
- ・ 各地の気象台は、ホットラインや記者会見、説明会等を実施するとともに、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣により、関係する自治体等に地震活動等の状況について説明を行っている。

6 海上保安庁の対応（8/2 10:00 時点）

○対応勢力

（1）巡視船艇・航空機

- ① 巡視船艇 2隻（延べ34隻）
- ② 航空機 0機（延べ13機）
- ③ 測量船 1隻（延べ8隻）

（2）人員

- 機動救難士 0名（延べ5名）
- 特殊救難隊 0名（延べ10名）

（3）リエゾン

- 福岡県庁 0名（七管区海上保安官）（延べ2名）
- 長崎県庁 0名（七管区海上保安官）（延べ2名）
- 熊本県庁 2名（十管区海上保安官）（延べ25名）
- 政府現地対策本部 2名（十管区海上保安官）（延べ8名）

- (4) 航行警報 2 件
- (5) 海の安全情報 1 件

○被害状況

現在まで、海上における被害情報なし

○その他参考事項

(1) 給水等支援

7 月 29 日（水）～ 8 月 2 日（日）

- ・ 八代港において自衛隊等給水車両及び住民等に給水支援

【給水支援合計：54 台、59 世帯、約 77.9 トン】

- ・ 八代港において入浴支援

【入浴支援合計：368 名】

- ・ 八代港において給電支援

【給電支援合計：1 名】

- ・ 三角港において病院等給水車両及び住民等に給水支援

【給水支援合計：42 台、540 世帯、約 124.5 トン】

- ・ 三角港において入浴支援

【入浴支援合計：357 名】

(2) 人員搬送

- ・ 7 月 30 日、回転翼機により、患者 1 名、医師 1 名及び患者家族 1 名を熊本労災病院から熊本大学病院に搬送

※給水等支援の実施状況について、随時、広報及び SNS 投稿（港湾局とも連携）により情報提供実施

(3) その他

- ・ 八代港湾合同庁舎（熊本海上保安部八代海上保安署）（業務継続中）
→外壁亀裂、断水

- ・ 三角港湾合同庁舎（熊本海上保安部）（業務継続中）
→屋内壁面亀裂、天井から若干量の水漏れ、断水

- ・ 佐敷港計石西防波堤灯台（傾斜）（31 日復旧）

- ・ 八代港三ツ島南灯浮標の移動

- ・ 特殊救難隊 5 名 鹿児島七ツ島支援センター前進配備中

- ・ 測量船等による緊急調査等（海底障害物調査等）

測量船さくらひびき

7 月 30 日午後 4 時 50 分 八代港水深調査終了（調査結果は、九地整へ共有済み）

- ・ 職員、家族の被害なし

7 国土地理院の対応状況（8/2 11:00 時点）

- ・ 国土地理院災害対策本部会議（7/28 19:30、23:00、7/29 11:00、16:00、7/30 15:00、7/31 16:00、8/1 16:40）
- ・ 被災状況調査のため、国土地理院の測量用航空機「くにかぜ3」及び民間航測会社の航空機4機により、空中写真を撮影中（TEC-FORCEとして国土地理院職員2名派遣）。撮影できた地域について、垂直写真・斜め写真・正射画像を関係機関にプッシュ型で提供、HPにて公開
- ・ 電子基準点による地殻変動の情報をHPにて公開
- ・ 活断層図及び地形分類データをHPにて公開
- ・ リエゾン熊本県庁に派遣中（TEC-FORCEとして国土地理院職員2名派遣）。
- ・ 「だいち2号」及び「だいち4号」観測データの干渉解析による地殻変動の情報をHPにて公開
- ・ 震源断層モデルをHPにて公開
- ・ 斜面崩壊・堆積分布図を関係機関に提供、HPにて公開
- ・ 令和8年熊本地震に伴う基準点成果の公表停止についてHPに掲載
- ・ 令和8年熊本地震前後の画像から判読された変位境界（速報）（八代地区）をHPにて公開

8 国総研・土研・建研の対応状況（8/2 11:00時点）

（1）災害対策本部

- ・ 国土技術政策総合研究所 災害対策本部会議（第1回 7/28 19:00、第2回 7/28 22:30、第3回 7/29 10:30、第4回 7/29 15:30、第5回 7/30 14:30、第6回 7/31 18:10、第7回 8/1 16:00）
- ・ 土木研究所 災害対策本部会議（第1回 7/28 20:00、第2回 7/29 11:30、第3回 7/30 15:30、第4回 7/31 14:30、第5回 8/1 14:30）
- ・ 建築研究所 災害対策本部設置（7/28 17:10）

（2）職員派遣

- ・ 道路構造物の専門職員が自治体への技術支援として熊本県内の道路構造物の現地調査等を実施（7/29～30：国総研3名、土研3名、7/31：国総研6名、土研3名、8/1～：国総研3名）
- ・ 道路構造物の専門職員が現地調査班と国総研・本局との連絡調整を実施（7/29～7/31：国総研1名）
- ・ 港湾施設の専門職員が熊本県内の港湾施設へ緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として活動（7/29～7/31：国総研1名、8/1～：国総研1名）
- ・ 河川構造物の専門職員が熊本県内の堤防被災についての現地調査を

実施（7/30～7/31：国総研 4 名、土研 2 名）

- ・ 建築構造の専門職員が熊本県内の被災建物等について現地調査を実施（7/30：国総研 1 名、建研 3 名、7/31：国総研 2 名、建研 3 名、8/1～：国総研 1 名）

以 上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 宮本
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461